

# 平成30年産雑豆の作付面積と 生産状況について

(公財) 日本豆類協会

## 1. 平成30年産雑豆の作付面積

農林水産省大臣官房統計部は、平成30年10月25日付けで「平成30年産大豆、小豆、いんげん及びらっかせい（乾燥子実）の作付面積」について公表しました。ここではその調査結果から雑豆に関する部分を抜粋して、下記のとおり紹介します。

### (1) 小豆

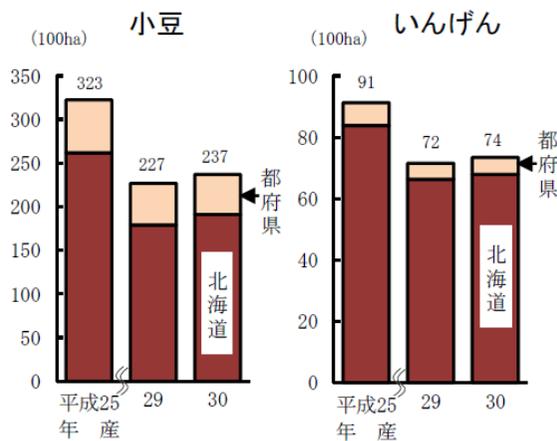
小豆の作付面積は2万3,700haで、前年産に比べ1,000ha（4％）増加した。

このうち、主産地である北海道の作付面積は1万9,100ha（全国の約8割）で、大豆等からの転換等により、前年産に比べ1,200ha（7％）増加した。

### (2) いんげん

いんげんの作付面積は7,350haで、前年産に比べ200ha（3％）減少した。

このうち、主産地である北海道の作付面積は6,790ha（全国の約9割）で、大豆等からの転換により、前年産に比べ160ha（2％）増加した。



小豆及びいんげん（乾燥子実）の作付面積の推移

(参考)

### 1 小豆及びいんげん（乾燥子実）の作付面積の推移（全国）

単位：ha

区 分	小 豆		
	計	田	畑
平成21年産	31,700	6,700	25,000
22	30,700	6,080	24,600
23	30,600	5,760	24,800
24	30,700	5,290	25,500
25	32,300	5,140	27,200
26	32,000	4,800	27,200
27	27,300	4,040	23,300
28	21,300	3,350	17,900
29	22,700	3,240	19,400
30（概数）	23,700	3,430	20,300

単位：ha

区 分	いんげん			らっかせい		
	計	田	畑	計	田	畑
平成21年産	11,200	482	10,700	7,870	174	7,690
22	11,600	502	11,100	7,720	187	7,540
23	10,200	423	9,780	7,440	170	7,270
24	9,650	404	9,250	7,180	142	7,040
25	9,120	365	8,760	6,970	140	6,830
26	9,280	301	8,980	6,840	140	6,700
27	10,200	330	9,910	6,700	138	6,560
28	8,560	292	8,270	6,550	132	6,420
29	7,150	318	6,840	6,420	133	6,280
30（概数）	7,350	308	7,040	6,370	133	6,240

資料：農林水産省統計情報部『耕地及び面積等計』（以下同じ。）

### 2 小豆及びいんげん（乾燥子実）の作付面積の推移（北海道）

単位：ha

区 分	小 豆	いんげん	らっかせい	
			金 時	手 亡
平成26年産	26,300	8,540	5,700	2,240
27	21,900	9,550	6,260	2,720
28	16,200	7,940	6,170	1,200
29	17,900	6,630	5,070	1,060
30（概数）	19,100	6,790	5,140	1,210

### 2. 平成30年産雑豆の生育状況（北海道）

北海道庁では、営農指導を的確に行うため、5月15日から10月15日までの間、毎月2回、農作物の生育状況を調査した結果を公表しています。9月以降の雑豆の生育状況は以下のとおりです。

（9月1日現在）

8月の気象は、上旬は高気圧の張り出しの中であって晴れた日があったものの、停滞した前線や台風から変わった低気圧などの影響で、全道的に曇りや雨の日が多くなり、気温

も平年を下回る日が多かった。月平均気温は平年並となったが、月降水量はかなり多く、月間日照時間は少なく推移した。

・小豆については、開花期以降の天候不順により、莢の伸長は鈍く莢数は少ない。また、ほ場間で登熟にばらつきが見られる。

・菜豆（金時）については、開花期以降の天候不順により、莢の伸長は鈍く莢数は少ない。また、ほ場間で登熟にばらつきが見られる。

(10月1日現在)

9月の気象は、上旬は、台風第21号が本道に接近した影響で大雨となった日があったものの、中旬以降は高気圧の張り出しの中であって晴れた日が多かった。全道的には、気温は高く、降水量は少なく、日照時間は多く推移した。

・小豆については、開花期以降の天候不順により、ほ場間で登熟にばらつきが見られ、収穫作業は遅れている。

・菜豆（金時）については、開花期以降の天候不順により、ほ場間で登熟にばらつきが見られ、収穫作業は遅れている。

(10月15日現在)

10月前半の気象は、高気圧と低気圧が交互に通過し天気は短い周期で変わった。また、台風第24号及び25号や低気圧を含む気圧の谷の影響で雨の日が多かった。気温は高く、降水量は多く、日照時間は平年並で推移した。

・小豆の収穫作業は、登熟の遅れと降雨の影響により遅れている。

・菜豆（金時）の収穫作業は、登熟の遅れによりやや遅れて終了した。



北海道芽室町 小豆「きたろまん」  
(10月3日撮影)



北海道芽室町 「大正金時」  
(9月11日撮影)